



清 泉

令和6年1月30日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1

電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

『遊び』について

先日、「第63回新春たこあげ中部地区大会（中神小学校・光華小学校・成隣小学校）」に行ってきました。冬の時期特有の澄み渡る青空に数多くの凧が空高く舞っていました。各小学校区のウイズユースの方々のご指導のもと、それぞれ思い思いの絵や文字を描いた手作りの凧を、助走の距離やスピードを考えたり、糸の長さを調整したりしながら、少しでも高く上がるようにと工夫している姿がとても印象的でした。ただひたすら（集中して）、♪たこ たこ あがれ 天まで あがれ♪

さて、最近私が考えていることは「遊び」についてです。子どもたちは何も無いところから「遊び」を生み出す名人です。そして、遊びは「何かのために遊ぶのではなく、遊びたいから遊ぶ」といった単純な行為です。（スマホやタブレットの既成のゲーム等は今回除きます。）遊びとは、内発的動機からそれ自体に没頭し、集中している状態だと思います。ついつい遊びに没頭し時間を忘れて親に叱られたという記憶がある方も多いのではないのでしょうか。ドイツの哲学詩人フリードリッヒ・シラーは「人間は遊ぶときに最も人間的である」という意味のことを言っています。

子どもたちが公園で鬼ごっこをしている様子を想定してください。鬼は全速力で走り、相手の背中に力強くタッチ（バシッ!）。「やられた、私が鬼だよ」。さあ、鬼役を交代して鬼ごっこを再開しようとしたら、遅れてきた友達が「悪い、今日、一番下の弟の面倒見なきゃいけないんだよ」「いいじゃん、（弟も）一緒にやろうぜ」さて、この後、どうなったのでしょうか？年齢（体力）の差があるメンバーでも、みんなで楽しく遊ぶことができるルールを考えたのかな、違う遊びを考えたのかな。

「遊び」は予定外のことへの対応力、正解のないことに対する問題発見とその解決力、夢中になることでの集中力、どんなメンバーも受け入れる多様性の理解、遊びそのものやルールを自ら考える創造性等々、このように「遊び」で多くの力を獲得していくのではないのでしょうか。

*以下に1月19日（金）実施の2年生の東京フィールドワークで生徒に伝えたことです。

現在の教育には「これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれの思い描く幸せを実現してほしい」という願いが込められています。このことを知り、みなさんには委縮するのではなく、清泉中2年生の“強み・よさ（持ち味）”をおおいに生かそうと捉えてほしい。（略）FW中に予想外のことが起きたら、その時こそ、班員の知恵と行動力を集結し、『ピンチをチャンス』に変換できる『前向きさ』を発揮してほしい。みなさんならできる！
（「第2学年 東京フィールドワーク」のしおりから）

学校の「学び」も変化のときです。答えは「『A』です」だけの授業はもう求められていません。授業でも「遊び」の本質を生かしていただくことも授業改革の1つの視点になるでしょう。

速報 令和5年度中学校保護者アンケート（昭島市教育委員会実施）

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は上位と下位の3項目をお知らせし、次号（2月）にて、アンケート結果を基に令和6年度どのように改革をしていくかをお示しします。

○お子様は、思いやりの心をもって行動している様子が見られますか（90.4）

○お子様は、楽しく学校生活を過ごしていると思いますか（85.0）

○お子様は、毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（81.9）

▼お子様は、家庭で読書をしていると思いますか（23.0）

▼お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか（35.6）

▼学校は、お子様の学力や学習意欲を向上させるために、タブレットを有効に活用していると思いますか。

（41.1）

1月13日の土曜公開へのご参加ありがとうございました。さらには

参加保護者等：1年87名、2年23名、3年54名

また、当日、薬物乱用防止教室（1年）を、税関の職員の方々（麻薬犬も）を講師にお招きし実施しました。そちらには保護者・地域の方々を含め70名のみなさまに生徒とともにご参加いただきました。

質問コーナーでは、最初、生徒は質問をしていいのか迷っていましたが、保護者の方が挙手され質問してくださったので、その後生徒は勇気をもって質問できました。ご協力ありがとうございました。

また、地域・保護者の方から「仕事」を